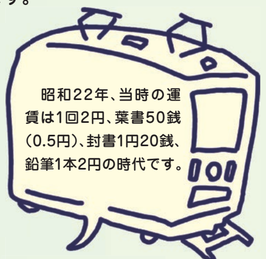
名古屋市電
～市電から地下鉄へ～

《写真提供》
●名古屋市交通資料センター　●加藤 彬さん
●名古屋市交通資料センター所蔵品
「目で見る千種・名東の100年」より

東山小のみなさんが生まれるずっと前、名古屋市に住む人々の主な交通手段は“市電”と呼ばれる道路の上を走る電車でした。このページでは、市電から地下鉄へ移り変わっていく様子を紹介したいと思います。

昭和12年東山公園線が開通し開通記念にお花で装飾された電車が走りました。



昭和27年本山駅付近

車内の様子

昭和30年頃、当時の東山小の子ども達は京都・奈良への修学旅行に唐山の電停から市電に乗り、出発したそうです。とっても楽しそうですね！

昭和29年までは女性の車掌さんも活躍していました。優しい応対ぶりがとても好評だったそうです。

時代は地下鉄へ・・・

昭和30年代に入ると、自動車の増加により定時運行が困難になった事や維持費の増加などが原因で次第に地下鉄開通への計画が進みました。

地中を掘り進めていく日本初のシールド工法が覚王山で採用されました。

昭和32年地下鉄開通時に市民に配布した試乗券。

昭和38年、池下～東山公園間が開通しました。開通式には、東山動植物園のトラのトミ君が来てくれました。

PTA委員会活動

研修委員会

研修委員会では、11月17日に第2回家庭教育セミナーを開催いたしました。講師に南山高等・中学校教諭の中谷豊実先生をお迎えして、「親学ノススメ」『子どもの心に微笑みを！～児童の悩み、反抗期、思春期に向き合う子育て～』というテーマでご講演いただき、好評のうちに終了いたしました。多数のご参加に感謝いたします。

生活委員会

生活委員会では、年に4回、各家庭で使わなくなった上靴や体操服などを回収し、ご希望の方にお譲りしました。リサイクル品の回収をはじめ、ベルマーク集計、その他様々なお手伝いにご参加いただき、皆さまのご協力のもと一年間活動できました。委員一同心より感謝しております。ありがとうございました。

地域委員会

今年度も子どもたちの登下校の安全確保に努めてまいりました。保護者の皆さまにご協力いただいています「LANLANパトロール」「ゼロの日交通安全指導」地域委員による年3回の全市一斉パトロールにて、通学路の危険箇所を把握し、改善に取り組んでいます。これからも皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

広報委員会

広報委員会は、後期10名で9月より活動を始めました。今回も前期に引き続き、「もっと知りたい！私たちのまち」をテーマに、東山のむかしについて、より深く追求しました。皆さまにわかりやすく読んでもらえるよう、委員一同、試行錯誤を重ねながら、作成しました。より多くの方々に読んでいただけたら幸いです。

PTAクラブ活動

コーラス部

こんにちは！コーラス部です♪3月は別れの季節。クラス替えでお友達と離れることも…。でも安心してください！！コーラス部は子どもが卒業しても歌い続けることができます。大きなホールで歌いました！野外ステージもやりました！クリスマスには子ども達と歌いました！今後はどんな楽しい事が待っているかな？楽しみです♪

バレー部

こんにちは。バレー部です！バレーといっても普通のバレーではありません！！名古屋発祥の“アタックなし、4回で返す”レクリエーションバレーです。ですから初心者でも大丈夫！もちろん経験者でも大歓迎です。身体を動かしたいと思っている方、ご興味のある方は、ぜひ見学・体験にいらして下さい。随時受け付けております。

お話の会

大放課の20分間、低学年図書室に集まって来てくれる子ども達に絵本の読み聞かせやパネルシアターの上演を行っています。「今日は何を読んでくれるの？」とワクワクしている子を見ると、こちらも自然と笑顔になります。毎月一度、絵本を通して子どもと関わりをもつ時間です。私達と一緒に小さなやりがいを見つけてみませんか？

東山ドッジボールクラブ

学区の方々のお力添えにより、今年度東山にドッジボールクラブが結成されました。

現在約60名の子どもたちが月に2回程度（土曜または日曜の午後）小学校体育館で練習に励んでいます。よろしくお願いします！

PTAより寄贈しました。

体育館に校歌パネルが新しく設置されました。

表彰されました！

昨年度の東山小PTA新聞が、第38回全国小・中学校PTA広報紙コンクールにおいて『奨励賞』をいただきました。

編集後記

東山の歴史について少しでも興味を持ってもらえたら嬉しいです。

編集にあたり、ご協力いただいた方々に改めて感謝いたします。

ありがとうございました。

東山小PTA新聞

《校　訓》自ら学び　たがいに励まし　みんな仲よく元気な子

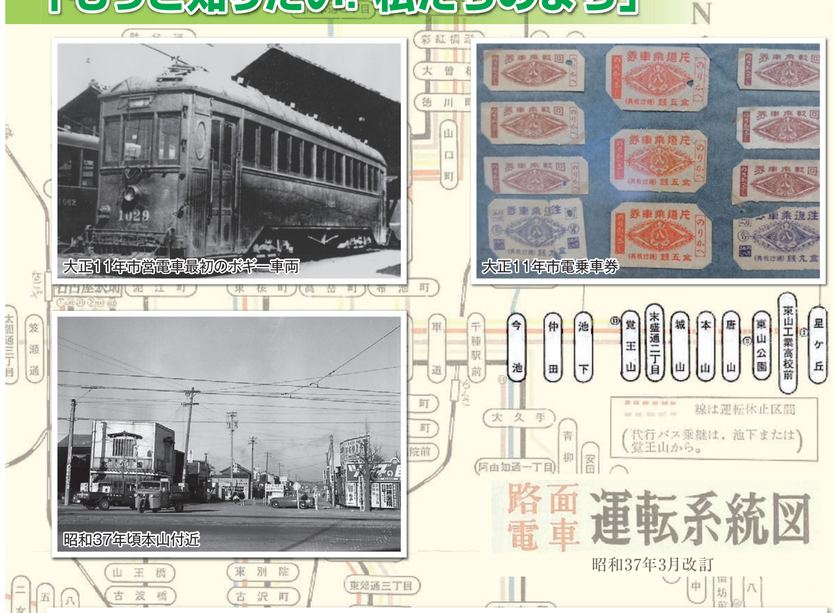
名古屋市立東山小学校
PTA広報委員会
No.227
2017年3月1日 発 行

「もっと知りたい！ 私たちのまち」

大正11年市営電車最初のボギー車両

大正11年市電乗車券

昭和37年頃本山付近



平素は東山小学校ＰＴＡ活動に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今回のＰＴＡ新聞は、『もっと知りたい！私たちのまち』をテーマに、前回に引き続き、東山学区やその周辺にある施設の歴史や昔のまち並みなどをご紹介しております。

私たちの学区とその周辺には、毎年非常に多くの方々が訪れる東山動植物園、戦災復興の土地区画整理事業の一環として市内の墓地を集めた平和公園、天気予報や桜の開花予測でもお馴染みの名古屋地方気象台、旧城跡でもある城山八幡宮など知名度の高い施設、魅力的な名所や旧跡がたくさんあります。

ただ、そうした形のあるものだけではなく、もっと身近なところでは、普段から目にしている町名や交差点名などの地名も、このまちの歴史に関係し由来となっているものが多いようです。こうした施設や地名などの由来や歴史を、お子様と一緒に調べたり、実際に散歩しながら探索したりして、お子様が小学生の貴重な時期をお過ごしになるこの東山学区の魅力を、再発見して頂けたら幸いです。

最後になりましたが、私は子どもの卒業と共に、来月の総会をもってＰＴＡ会長を退任することになります。４年間という任期でありましたが、私たちのＰＴＡ活動は非常に多くの皆様に支えられていることを改めて痛感している次第です。この場をお借りして、皆様に深く感謝申し上げます。またこれからも引き続き、東山小学校ＰＴＡ活動にお力添え頂きます様、よろしくお願い申し上げます。

東山小学校PTA会長
稲 垣 啓 介

前期につづき、後期も東山学区の歴史を紹介します。
年代をさかのぼり、調査を進めていくと、さらなる発見が･･･！？
みなさんも一緒にタイムスリップしてみませんか？

スマートフォン・タブレット端末を使えます。
「こあらっち」のイラストのついた写真をアプリ「COCOAR」で認識すると色々な写真がご覧になれます。紙面全体に4ヶ所あります。
※平成29年5月末まで配信。(前期分も5月末まで配信。) ※横浜のキャラクター「こあらっち」

COCOAR
ココアルとは？
「COCOAR」は、スマートフォンのカメラでマーカーを認識することにより、動画、音楽、任意のWEBサイトなどをスマートフォン上で関覧することができる専用アプリです。

「AppStore」からダウンロード(無料)
QRコードよりダウンロード。
もしくは、iPhone/iPadの「AppStore」で【cocoar】と検索。

「Google Play」からダウンロード(無料)
QRコードよりダウンロード。
もしくは、Android OS端末の「Google Play」から【cocoar】と検索。

名古屋地方気象台

日和町の高台にある丸いドームが目印の名古屋地方気象台に潜入して来ました！

●名古屋地方気象台の歴史

- 明治23年(1890年)7月1日　現在の栄ＮＨＫ近くに創設。
- 大正12年(1923年)1月1日　現在の場所に移転。
  (日和町という町名は、区画整理の際、気象台があることから付けられました。)
- 昭和36年(1961年)6月16日　名古屋レーダー運用開始。

●天気予報のしくみ

気象情報官の小林幸博さんにお話をうかがいました。

施設内の観測装置や目視で計測したデータが気象庁のスーパーコンピューターに送られ、天気予報のもとになるデータが作成されます。
このデータをベースに、最終的に予報官が天気予報を決定します。
目視では、雲の量や見通しなどを24時間、3時間ごとに観測しています。

レーダーによる観測

パラボラアンテナ
直径3m
一分間に4回転
(15秒で1回転)

観測範囲：半径400km(障害がなければ)

平成20年8月末豪雨時のレーダー画像
名古屋地方気象台

温度計・湿度計(露場)

積雪深計

積雪計(露場)

少しでも正確な予報にするため、人の力でギリギリまで観測しているんだよ！

●生き物や季節現象の観測

敷地内には標本木となる植物が植えられていて、職員の方が開花時期などを観測・報告しています。近年の温暖化で、桜の開花は早く、紅葉は遅くなっているそうです。

この桜の花が5～6りん咲いたときに、名古屋市の開花宣言が出されます。

こんなこともあったんだって！
昭和54年9月4日、名古屋で発生した竜巻。
(死者1名、負傷者5名)

名古屋地方気象台屋上から撮影(北西側)

名古屋市内を北上している竜巻

※記事中写真は名古屋地方気象台提供の資料より

●過去の災害

伊勢湾台風	死　者	3,168 人
(台風15号)	行方不明	92 人
(S34.9.26)	負傷者	59,045 人

東海豪雨	死　者	7 人
(秋雨前線と台風14号)	重傷者	20 人
(H12.9.11-12)	軽傷者	87 人

東山の歴史は一片の土器のかけらから始まった･･･

昭和27年12月のある日、名古屋市立城山中学校の荒木実先生のもとに、一人の生徒が土器のかけらを持ってきました。

その正体はなんと、「古墳時代に作られた土器(須恵器)の一片」だったのです。

その一片をきっかけに調査を進めると、私たちの住む東山一帯で「陶器」が作られていたことがわかりました。

今から1500年以上前の古墳時代、朝鮮から「ろくろ」を使って高温で焼成するという新しい陶器生産の技術がもたらされました。その技術は尾張地方にも伝わり、現在の名古屋市東部にも多くの窯が築かれました。

それらの窯が築かれた一帯を『東山古窯址群』と呼び、東日本最古とも言われています。

この東山古窯址群が焼物の発祥地【末盛(末森)】となり、飛鳥、奈良、平安、鎌倉時代にかけて栄え、室町時代になると生産地は次第に瀬戸や常滑の方へと移っていきました。

生徒が拾った土器のかけら(日和町)

この方々にお話をうかがいました。

岩野館長

荒木理事長

荒木集成館
【開　館　日】金･土･日曜日
【開館時間】10時～17時
(入館は16時半まで)
【住　　所】名古屋市天白区中平5-616

荒木実先生が東山古窯址群の歴史を詠んだ歌

101号窯　東山動植物園内

千種区には末盛、唐山、瓶杁などの焼物にちなんだ地名が残っています。

末　盛

須恵器生産の技術集団は『すえつくりべ』(朝鮮半島から日本に渡ってきた渡来人)と呼ばれました。須恵器生産が盛んだったことから由来。

唐　山

唐人(朝鮮半島から日本に渡ってきた渡来人)が移住し、付近で陶器を生産したことに由来。

瓶　杁

古墳時代以降の陶器産地の名残の地名。瓶の生産地で杁(ため池から水を流すための水門)の近くにある陶器の洗い場という意味に由来。

～歴史まめまめ知識～
城山八幡宮一帯は、江戸時代以前には末森村と呼ばれていたのじゃ。
その末森村と呼ばれた場所に、約470年前の室町時代末期、私の父、信秀により末森城が築かれ、父の死後、弟の信行が末森城の主となったのじゃ。

織田信長公

東山動植物園

今回は植物園にスポットをあててみました！

現在7,000種もの植物がある東山動植物園。開園当時の東山周辺は、森に囲まれ辺りに何もなかったそうです。

自然の地形を生かしているため自然が豊かで野鳥や虫も多く、「東山植物園の野鳥の声」が日本の音風景100選に選ばれています。

広報担当の瀬戸さん、植物園の平泉さん

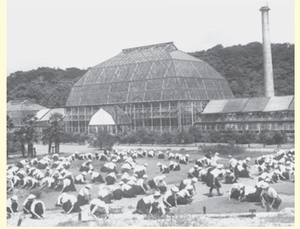
〈昭和12年：開園当初の温室〉

当時は石炭ボイラーで温室をあたためていたため煙突がありました。

現存する公共の温室としては日本最古のもので、当時は「東洋一の水晶宮」と呼ばれました。

平成18年に国の重要文化財に指定されました。現在は保存修理工事中で平成32年再オープンの予定です。

〈昭和18年：女学生による奉仕活動〉


～女学生が草むしりしている様子です～
～戦時中、園内各所は食糧を作るための畑になりました～

温室の歴史を見てきた植物たち

開園当初からある植物

根っこがタコの足みたいなタコノキ

とっても背の高いシンノウヤシ

温室を管理している野村さん(左)、市野さん(右)

世界で最も美しいと言われる熱帯の花
ムクナ・ペネッティ

ノランティア・ギアネンシス

この2つの花を日本で最初に開花させました

今も昔もやってます～自然がもっと身近になるように～

昭和48年：サマースクール

平成28年：サマースクール

平成28年：温室トーク